

市町村名：花巻市
学校名：花巻市立湯本中学校
担当者名：千葉 泰正

【地域の方の協力により、地域の産業や食文化について指導した事例】

教科名等	総合的な学習の時間				
単元名等	体験活動を通して食について考える				
取組学年	全学年	取組時期	5月～11月	毎年実施の有無	有
取組内容	<p>本校では毎年、学校田「美楽園」(借地)を利用しての水稻栽培や、体験学習を通しての食文化について学ぶ機会をもっている。</p> <p>水稻栽培の事前学習として、岩手農政事務所の方を講師に招き、米にまつわる話や日本の農業の現状などについて講話をいただいている。また、日本米や外国米の実物展示や米の種類・特徴などについてのパネル展示も行い、農業の現状について考える機会としている。</p> <p>実際の体験活動は、地域の農家の方々やPTAの方々の支援を受けながら、田植え・稲刈り・脱穀の一連の作業(3年間ですべての作業を体験する)を行っている。</p> <p>収穫できた米は、半分を文化祭のバザーに出品して、保護者の方々に購入していただき、その益金は募金等の福祉活動に使われ、残りの米は、本校生徒が奉仕活動をさせていただいている「ケアハウス花巻」(地元にある老人ホーム)と生徒に配分し、家族で新米を賞味してもらっている。</p> <p>また、食文化については、総合的な学習の時間(本校では講座選択制をとっており、全校生徒が“湯本”をテーマにした7つの講座から1つ選択する)で、“昔の湯本の食文化”を選択した生徒が、昔から湯本に伝わり日常的に食する機会が多い「きりせんしょ」「がんづき」「ぶちょうほう団子」等の作り方について、地域のお年寄りを講師に招き、実際に作って食する体験をしている。</p> <p>これらの共通する食材である砂糖や小麦粉の種類・利用法、地域による作り方の違い等について、調査や家族の方から話を伺うなどして、秋桜祭(文化祭)でその成果を発表している。これらの活動を通して、郷土の食について学び、郷土を知る機会となっている。</p>				
本組を行っている理由	<p>食は人づくりの土台であるという考えから、これらの活動を通して湯本の主たる産業である農業について考え、自分たちの郷土に伝わる食文化について学習することで、生涯にわたって心身ともに健康な生活ができる基礎を培いたいと考え、この取組を行っている。</p> <p>また、家庭科の食に関する内容と関連付けながら、食事と健康のかかわりや食物を大切に作る心、感謝する心が育つように取り組んでいる。</p>				